

2025/3 月度 あすなろ大学 ウォーキングクラブ定例会

歴史と文化の香る町小田原



日時：令和 7 年 3 月 19 日（水）

集合時間：8:30 時間厳守

集合場所：小田急線、海老名駅下りホーム

※最後尾辺り休憩室付近集合

海老名発 8:45～小田原駅着 9:26

当日の準備：飲み物・保険証



■コース： 小田原駅東口→北条氏政・氏頼の墓→報徳二宮神社→小田原城址公園→清閑寺
大久保神社→傳肇寺→小峰御鐘ノ大堀切→浄永寺→小田原駅西口



報徳二宮神社

小田原城が初めて築かれたのは、大森氏が小田原地方に進出した 15 世紀中ごろのことと考えられています。1500 年ごろに戦国大名小田原北条氏の居城となってから、関東支配の中心拠点として次第に拡張整備され、豊臣秀吉の来攻に備えて城下を囲む総構を完成させると城の規模は最大に達し、日本最大の中世城郭に発展しました。

明治 27 年（1894）4 月、二宮尊徳翁の教えを慕う 6 力国（伊豆、三河、遠江、駿河、甲斐、相模）の報徳社の総意により、翁を御祭神として、生誕地である小田原の、小田原城二の丸小峰曲輪の一角に神社が創建されました。明治 42 年本殿・幣殿を新築、拝殿を改築し、神苑を拡張し現在の社地の景観を整えました。平成 6 年（1994）には創建百年記念奉告祭を斎行して今日に至っています。



小田原城址公園



清閑亭

大久保神社は、小田原北条氏の滅亡後に小田原城に入って初代藩主となった大久保忠世を祀る神社として 1893 年（明治 26 年）に創建された。もとは小田原城天守台跡にあったが、明治 33 年、城跡が御用邸になることとなったため現在地に遷された。

清閑亭は、明治時代に活躍した黒田長成（ながしげ）侯爵の別邸として、1906 年（明治 39 年）に神奈川県足柄下郡小田原町（現・小田原市南町）に建てられました。旧小田原城三の丸外郭土塁の南向き傾斜地に位置しており、晴れた日は母屋から真鶴半島や大島を望む相模湾や箱根山を一望できます。



大久保神社



＜幹事＞ 城森幸雄 大村浩治 小山久仁子 山本愛子 菅原千恵子